



〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1314
FAX:(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp



避難地域 1 2 市町村における 少人数教育に対応した教授法に関する教員研修

- 日 時：令和 7 年 9 月 2 6 日（金）1 0：0 5～1 6：1 0
- 会 場：東日本大震災・原子力災害伝承館、双葉町産業交流センター
- 参加者：小・中義務教育学校教員、市町村教育委員会指導主事等合計 5 5 名
- 内 容：（1）伝承館における施設見学等の研修プログラム
（2）ラウンドテーブル
①代表校発表
双葉町立双葉南・北小学校、南相馬市立小高中学校、川内村立川内小中学園
②ラウンドテーブル「少人数教育における探究的な学びを支える教員の在り方について」
（3）講演「子どもの『主体的な学び』を支える
ー①『本時主義』からの脱却 ②主体的な学校運営への参画ー」
南砺市教育委員会教育長
富山大学名誉教授 松本 謙一 様

【研修のまとめ】

【伝承館における施設見学等の研修プログラム】

東日本大震災・原子力災害伝承館の見学をとおして、複合災害を知り、学ぶことができました。見学後は
楢葉町立楢葉中学校長松本涼一様を講師に、被災時の教育現場の話を聞き、共感することができました。

【ラウンドテーブル】

3 つの学校から以下の内容について実践発表していただきました。

双葉町立双葉南・北小学校：町の「産業」「文化」「地域」について探究する児童の深い学びについて

南相馬市立小高中学校：生徒が主体的に学びだす教師の働きかけについて

川内村立川内小中学園：義務教育学校の良さを生かした「かわうち創造学」について

【講演】

これまでの実践に基づいた力強い講演をしていただきました。「子どもたちの主体的な学びを促すためには主体的な指導者が必要です。先生方自身がワクワクしていますか？」（松本謙一様より）

研修の感想

- 震災のことを伝えていくことの大切さを改めて感じました。今後は視座高く物事を考えていきたいです。
- 感動して涙が出ました。教員になって良かったと思えるお話でした。もっとできることがある。学校に戻るのが楽しみになりました。
- 福島県で働く教員として、また、県民としてとてもいい研修になりました。

